

戦評用紙

大会名	第 6 8 回国民体育大会夏秋季大会山形県予選会 兼第 4 0 回東北総合体育大会山形県予選会バスケットボール競技
-----	--

日時	2 0 1 3 年 7 月 1 4 日 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 5 0	区分	成年男子
----	---	----	------

チーム A				チーム B
山形ベスラベナ				吹浦クラブ
6 0	1 6	1 Q	2 2	7 7
	1 9	2 Q	1 3	
	1 6	3 Q	2 6	
	9	4 Q	1 6	
		延長		

【戦評】

1 Q 両者ハーフコートマンツーマンでスタート序盤吹浦 # 1 の 3 P で先制する。対する山形は # 4 2 ミドルシュート, # 1 3 の 3 P など応戦。吹浦は # 3 2 のリバウンドシュート, # 9 9 の連続 3 P からリードを広げる。流れを切りたい山形は残り 4 分でタイムアウト。# 4 2 のゴール下での得点と # 1 の 3 P とドライブで応戦。しかし、流れが切れず 1 6 - 2 2、吹浦のリードで 1 Q 終了する。

2 Q のスタートも両者ハーフコートマンツーマンでスタート。山形は # 3 9 のパワープレイで食いつくが、吹浦 # 1 6 もルーズボール獲得からの # 3 2 の速攻と激しいマンツーマン・ディフェンスから開始 4 分で 2 回目のタイムアウト。【1 8 - 2 6】 # 1 3 の 3 P, # 8 の速攻など連続得点を重ね、吹浦がタイムアウトを取る。【3 0 - 3 3】終了間際、山形 # 3 9 のミドルシュートが決まり 3 5 - 3 5 の同点でハーフタイムを迎える。

3 Q も前半同様両者ハーフコートマンツーマンからスタート。吹浦 # 3 3 の速攻でのバスケットカウントが決まり、又、# 1 のパワープレイで流れが来る。山形も # 8, # 3 9 へボールを集めるが吹浦のダブルチームやディフェンス・リバウンドが利き、残り 5 分でタイムアウトを取る。【3 9 - 4 7】 # 2 7 の交代で 2 連続のシュート, # 8 の 3 P で応戦するが、それでも吹浦への流れが止まらず 5 1 - 6 1 で終了。

4 Q、山形の 2 P シュートから決まるが、吹浦 # 1 の 3 P で応戦。お互い一步も譲らず我慢の時間帯が続く。ファウルが重なり残り 6 分で吹浦がタイムアウトを取る。タイムアウト後も吹浦 # 9 9 のオフェンス・リバウンドから得点、山形も # 8 の 3 P と混戦の展開。残り 4 分で吹浦が 2 回目のタイムアウト。【6 0 - 6 9】吹浦が 2 - 3 のゾーン・ディフェンスに変え、山形が単発のシュートが多くなる。再び、マンツーマン・ディフェンスに変え、# 9 9 の 3 P が決まった所で、山形がタイムアウト。【6 0 - 7 4】その後も吹浦の勢いは止まらず、そのまま 6 0 - 7 7 でタイムアップ。地元開催の吹浦クラブに軍配が上がったが、苦しい場面でも最後までボールへ執着した山形ベスラベナの健闘も讃えたい。